

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 岩手県農村青年クラブ連絡協議会

担当 農業普及技術課 藤田智美

岩手県農村青年クラブ連絡協議会（以下、県連）は、県内の農業青年が相互に連携し、自らの農業経営の向上を図るとともにより良い農村の創造に努めることを目的とし、令和5年度は「再始動～さらにその先をめざして～」を活動スローガンとして農業技術の学習活動や仲間づくり・交流を行っています。

11月1日には、県連、東北農業青年クラブ連絡協議会及び県の主催で、「第53回東北農村青年会議岩手大会」を北上市（花巻市、奥州市含む）で開催しました。開催にあたっては、県内各地の農村青年クラブ員で構成する実行委員会を立ち上げ、大会テーマを「さあいこう！！～これまでの常識、これからの常識～」と定め、皆で意見を出し合いながら企画・運営にあたりました。当日は、東北各地から農業者や関係機関・団体ら160名程度が参加し、日頃の活動成果を発表するプロジェクト発表や意見発表のほか、各コースに分かれて県内の先進事例の視察研修や事例研修・ワークショップなどを行いました。久しぶりに東北各県の仲間が集い、技術研さんをしながら交流を深めることができました。

県連では、引き続き、お互いが刺激しあい、研さんしあいながら、さらなる発展へ邁進していきます。



第53回東北農村青年会議岩手大会開会式



4コースに分かれて事例研修